

平成25年度事業報告

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

I 事業概要

平成25年度は通常事業の他、重点項目を次のとおり設定し、実施した。

1 適正飼養の普及啓発を行う指導者の増加対策

- ① 全国各地における普及啓発事業を展開できる人的体制整備として、管理士通信関係事業の広報戦略の新たな展開や教育内容の拡充。
- ② 飼い主に対して、直接、適正飼養等の知識に関する研修教育を実施する仕組みの必要性や有効性に関する検討。

2 適正飼養等の普及啓発を効果的・効率的に実施可能な組織体制の整備

協会及び協会支部のあるべき組織の在り方の検討、その拡大及び合理化を含む必要に応じた見直しと相互の連携の強化。

① 協会の組織体制の見直し

事務局長制度を廃止し、3部16課体制とし、事務分担を明確にする。また、業務執行理事会を中心とした執行体制を基本とし、諮問機関としての各種委員会の位置づけを明確化する。

② 受講受験関係業務の執行体制の見直し

外部への業務委託を原則として廃止し、新たに設置した担当部課で業務を実施する。

また、災害時等のリスク分散も兼ね当該業務等の作業場所として埼玉県所沢市に出張所を整備する。

③ 協会と支部の連携の強化

協会における支部の位置づけの再検討を行うとともに、支部活動事業の委託方式で実施。

3 人と動物が共存する社会基盤づくりの推進

社会的関心の高い「ペットツーリズム」などの身近な事例をケーススタディとして、産官学民の連携・強化のもとでの人と動物が共存できる社会基盤づくりの推進及びその普及啓発や調査研究の支援を実施。

II 事業内容

1 動物の愛護及び適正な飼養管理に関する知識等の普及啓発事業

1) 国及び地方自治体の事業への協力

(1) 環境省等の関係行政機関が主催する動物愛護週間行事等への協力

① 動物愛護週間ポスターの配布

環境省が作成した動物愛護週間ポスターを各都道府県の会員に配布し、動物愛護精神の高揚を図った。

② 中央行事：動物愛護ふれあいフェスティバル

平成25年9月21日（土）に環境省、東京都、台東区、本協会を含む動物愛護関連公益法人等によって組織された動物愛護週間中央行事実行委員会の主催による「動物愛護ふれあいフェスティバル」を「捨てず、増やさず、飼うなら一生」のテーマのもとに開催した。延べ9,821名の参加者があった。

9月21日（土）、東京都台東区上野恩賜公園内噴水池前広場の行事内容

会場	内容
野外ステージ	動物愛護セレモニー、〇×クイズ大会、動物のふれあい方教室、愛犬のしつけ方教室
パネル展示コーナー 中テント	動物愛護週間ポスターコンクール入賞作品展、お散歩のマナー啓発パネル、全国ペット写真コンテスト入賞作品展、めざせ！満点飼い主ほか
ブース広場 こども広場	改正動物愛護管理法を知ろう！、災害対策コーナー、マイクロチップ啓発コーナー、ペット美容実演、動物相談コーナー、ペットフード等サンプリング、ブース出展社による各種展開、おりがみコーナー、お絵描きコーナー、アニマルフォトスタジオほか
抽選コーナー	スタンプラリー

野外ステージでは、東京都支部が「〇×クイズ大会」「動物のふれあい方教室」を担当し、犬、猫、小鳥、小動物に関するクイズの出題や図解したボードを用いてふれあい方の説明を行った。また、中テントではクイズ「めざせ！満点飼い主」を行い、高得点者には「動物はかせ」として認定する旨の表彰状と、協会シンボルマークをかたどった子ども用ノートを贈呈した。

③ 中央行事：各団体表彰式、動物愛護シンポジウム

前述の中央行事実行委員会の主催により、9月23日（月・祝）に上野公園内東京国立博物館平成館講堂にて、各団体の表彰式と講演「命を預かるという責任 ～いつかペットを見送るその日まで～」（講師：村田香織氏 もみの木動物病院副院長）、ミュージカル「ワンライフ」を開催した。講演やミュージカルでは、平成25年9月に施行された改正された動物愛護管理法の内容を踏まえ、動物を迎え、育み、その命を終えるまで、適切に愛情をもって飼い続けること（終生飼養）の飼い主責任についてわかりやすく伝えた。延べ321名の参加者があった。

④ 都道府県等が主催した行事への参加

支部の事業として、都道府県・市等と共催または後援・協賛の形で行事に参加した。

(34、県令順)

北海道、秋田県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、静岡県、愛知県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、岡山県、広島県、徳島県、愛媛県、高知県、福岡県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(2) 環境省等の関係行政機関が作成したパンフレットやポスター等の増刷や配布協力

環境省発行の普及啓発用パンフレット9種について増刷し、各都道府県支部等の活動を通じて有効活用を図った。

内 容	部数	配布先
あなただけにできること ～動物の繁殖制限～ (A4)	100	都道府県支部 (動物 愛護週間行事、イベ ント等)、 公開セミナー会場、 保健所等
まいごにしないですてないで (A4)	4,500	
ふやさないのも愛 (A4)	4,400	
備えよう!いつもいっしょにいたいから (A4)	3,000	
動物の愛護及び管理に関する法律が改正されました (A5)	10,300	
ほんとうに飼えるかな? 飼う前に考えよう (A4)	2,400	
飼う前に考えて (A5)	1,800	
まもれますか? ペットの健康と安全 (A4)	5,200	
めざせ! 満点飼い主 (A4)	4,000	
ペットフード安全法のあらまし (A5)	1,500	
合 計	37,200	

(3) 関係地方自治体の動物愛護センターや保健所等が行う普及啓発事業への協力

地方自治体が実施した下記講習会に本協会が講師等を推薦した。

組織名	日程等	研修会、講習会の名称
大津市動物愛護センター	合計21回、56名	ねこの飼い方講習会 (愛玩動物飼養管理士視聴覚教材 「心の声に耳をすませて、トラピー とミケの物語 (猫編) 上映)

(4) 関係地方自治体が設置する動物愛護推進協議会への参画

各都道府県等が定める動物愛護推進員設置要綱等に基づき、平成25年度は動物愛護推進員として栃木県7名、東京都7名、京都府3名、大阪府9名、沖縄県7名、札幌市3名、宇都宮市5名、名古屋市8名の愛玩動物飼養管理士の推薦依頼があり、推薦を行った。現在、本協会が推薦した動物愛護推進員総数は271名。

(5) 本協会会議室の提供

緊急災害時動物救援本部会議等に際して会議室を提供した。

2) 動物の愛護及び適正な飼養管理に関する知識等の普及啓発を行う指導者の養成と教育

(1) 愛玩動物飼養管理士通信教育の実施

二級愛玩動物飼養管理士（33期）及び一級愛玩動物飼養管理士（29期）の通信教育を実施した。平成25年度の愛玩動物飼養管理士の新規受講者総数は10,678名（夏期募集329名）であり、前年度比107% 692名増となった。内訳は、新規1級受講者数が1,882名で前年度比103% 51名増、2級新規受講者数は8,149名で前年度比108% 581名増となった。高等学校からの新規準2級受講者数は647名で前年度比110% 60名増、構成は、スクールからの団体受講が7,077名で構成比66%、企業からの団体受講が227名で構成比2%、個人受講が3,368名で構成比32%となった。

平成25年度の認定試験は年2回実施方式に改めて行い、平成25年12月15日（日）に全国52会場で、平成26年3月2日（日）に全国15会場で実施し、試験の結果は次の通りであった。

認定試験実施結果 (カッコ内は3月認定試験)

受験級	受験資格者数	受験者数	合格者数	合格率 (%)
一級	2,031(122)	1,939(104)	1,546(44)	79.7
二級	9,219(946)	8,670(835)	7,021(516)	81.0
準二級	669(17)	661(17)	495(11)	74.9
計	11,919(1,085)	11,270(956)	9,062(571)	80.4

(2) 愛玩動物飼養管理士養成制度採用校との協力

全国の専門学校、高等学校等110校で愛玩動物飼養管理士の通信教育が実施された。平成26年度は新たに指定校となる次の4校を加え、指定校は合計28校である。

・新たな指定校 4校

大阪ビジネスカレッジ専門学校、広島情報ビジネス専門学校、河原アイペットワールド専門学校、群馬県立勢多農林高等学校

・既存の指定校 24校

横浜トリミングスクール、学校法人東京愛犬学園 東京愛犬専門学校、リバティペットケアカレッジ、専門学校ちば愛犬動物フラワー学園、九州ペット美容専門学院、学校法人高橋学園 エス・ワン動物専門学校、学校法人孔明学園 東北愛犬専門学院、学校法人工藤学園 愛犬美容看護専門学校、群馬動物専門学校、ナンバペット美容学院、国際ペットワールド専門学校、沖縄県立中部農林高等学校、学校法人穴吹学園 穴吹動物専門学校、専門学校 ルネサンス・ペット・アカデミー、沖縄ペットワールド専門学校、学校法人菅原学園 仙台総合ペット専門学校、専門学校穴吹看護カレッジ、盛岡ペットワールド専門学校、学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ、京都動物専門学校、学校法人宮崎総合学院 宮崎ペットワールド専門学校、学校法人吉田学園 吉田学園動物看護専門学校、東京都立園芸高等学校、岡山理科大学附属高等学校

(3) 認定委員会

改正された動物愛護管理法を平成26年度教本に反映するなど必要な追加改定を行った。

また、過去問集の作成、認定試験問題と課題報告問題の出題ポイントの整理を行い、教育内容を充実させるとともに問題作成の効率化を行なった。

(4) 生涯学習講座の実施

平成25年度は「愛玩動物飼養管理士もういちど学ぼうプロジェクト」と題して、A～Dのコースを開催した。

Aコース：スクーリングで学ぼう

2級愛玩動物飼養管理士通信教育のスクーリング（講習会）を受講する講座

会 場	開 催 日	参加人数
① 福岡県福岡市	平成25年7月15日(月・祝)	1名
② 静岡県静岡市	平成25年7月28日(日)	0名
③ 東京都新宿区	平成25年8月3日(土)	8名
④ 兵庫県神戸市	平成25年9月1日(日)	0名
計		9名

Bコース：教本で学ぶコース

平成25年度愛玩動物飼養管理士教本を送付する講座

Cコース：映像で学ぶコース

視聴覚教材「心の声に耳をすませて」を送付する講座

Dコース：事例集で学ぶコース

愛玩動物飼養管理士実践ガイドブック「ペット飼養相談の実例集 ver. 17」を送付する講座

3) 支部との連携強化

支部と本部の連携を強化するため、支部長と業務執行理事の懇談会および支部長会議を開催した。また、支部主催の支部総会およびブロック会議に本部役職員が参加し、情報共有および意見交換を行った。

(1) 本部主催行事

①支部長と業務執行理事の懇談会

日 程	会 場	議 題
平成25年 4月 6日(日)	協会会議室	協会の組織体制の改善、ブロック会議開催

②支部長会議

日 程	会 場	議 題
平成25年11月16日(土)	協会会議室	協会業務の改善に向けた各種取り組み、支部活動予算

(2) 支部主催行事

①ブロック会議（各ブロックの幹事支部が実施）

日 程	ブロック	会 場	幹事支部
平成25年 7月13日(土)	近畿	環境情報プラザ(大阪市)	大阪府支部
9月23日(月)	北海道・東北	ばんけいスキー場(札幌市)	北海道支部
10月26日(土)	関東	協会会議室(東京都新宿区)	群馬県支部
11月 6日(水)	中部	静岡駅ビルパルシェ(静岡市)	静岡県支部
12月 1日(日)	九州・沖縄	宮崎市民プラザ(宮崎市)	宮崎県支部
12月 7日(土)	中国・四国	かるぽーと(高知市)	高知県支部

②支部総会

日 程	支 部	会 場	本部出席者
平成25年4月20日(土)	岡山県	池田動物園(岡山市)	東海林
5月3日(金)	三重県	総合文化センター(津市)	崎田
5月11日(土)	山梨県	総合市民会館(甲府市)	大島
	静岡県	男女共同参画センター(静岡市)	東海林
5月12日(日)	秋田県	ゆとり生活創造センター(秋田市)	小森
	茨城県	県南生涯学習センター(土浦市)	藤枝
	東京都	協会会議室(東京都新宿区)	東海林、岡崎、瀬谷
	福井県	中小企業産業大学校(福井市)	岡村
	京都府	池坊学園洗心館(京都市)	椎野
	鳥取県	倉吉未来中心(倉吉市)	原
5月18日(土)	宮崎県	市民プラザ(宮崎市)	東海林
5月19日(日)	徳島県	県民活動プラザ(徳島市)	武田
	北海道	教育文化会館(札幌市)	武田
	栃木県	東市民活動センター(宇都宮市)	山崎
	神奈川県	健康福祉総合センター(横浜市)	椎野、飯島
	石川県	女性センター(金沢市)	崎田
	長野県	もんぜんぷら座(長野市)	岡崎
	大阪府	エルおおさか(大阪市)	佐々木
	奈良県	奈良商工会議所(奈良市)	大島
	和歌山県	ビッグ愛(和歌山市)	原
	高知県	自由民権記念館(高知市)	岡村
	福岡県	ボランティアセンター(福岡市)	東海林
	鹿児島県	よかセンター(鹿児島市)	藤枝
5月25日(土)	群馬県	獣医師会館(高崎市)	東海林
	富山県	アイザック小杉文化ホール(射水市)	崎田
5月26日(日)	埼玉県	福祉保健センター(戸田市)	東海林、倉重
	千葉県	市民会館(千葉市)	佐々木
	滋賀県	草津アマカホール(草津市)	岡村
	兵庫県	県民会館(神戸市)	椎野
	広島県	安芸区民文化センター(広島市)	小森
	香川県	ユープラザうたづ(宇多津市)	大島
	沖縄県	男女共同参画センター(那覇市)	山崎
6月9日(日)	愛知県	長谷川ビル(名古屋市)	佐々木

4) 調査研究及び情報の収集、提供

(1) 平成25年度犬・猫の暮らし向き調査研究について

東京農工大学と本協会で行って来た寿命調査の内容に従って、一般社団法人日本小動物獣医師会の会員の協力を得て実施に着手した。

(2) 閲覧室の蔵書の収集と提供

図書閲覧室で各種文献・学术论文等の収集（19冊増）と提供（12冊貸出）を行った。

5) 相談会、講習会、講演会、展示会及び調査研究発表会等の開催

(1) ペット飼養相談会の開催

各都道府県支部が動物愛護週間等でペット飼養相談会を140回開催した。

(2) 電話や手紙によるペット飼養相談の受付

電話や手紙などによりペット飼養に関する相談を受け、適切な対応を行った。（約400件）。

(3) 人と動物の共生を考える市民公開セミナーの開催

一般市民を対象とした動物の愛護と適正飼養管理知識の普及のため、「人と動物の共生を考える公開セミナー」を開催した。本部主催としては第16回の開催となり、基調講演のテーマを「動物も人も幸せになるには」とし、ペット研究会「互」の山崎恵子氏に講師を依頼した。

また、支部主催として3会場で実施し、そのうち2会場では「犬と猫の食事」のテーマで獣医学博士大島誠之助常務理事と獣医師の荒井延明先生に、1会場では、「ペットを飼う前に」のテーマで山崎恵子氏講師を依頼した。

併せて、3会場で管理士3名による飼育体験発表を行った。

公開セミナー開催地

開催日程	開催地	開催会場	主催	入場者数
平成25年11月3日(月・祝)	郡山市	ビッグパレットふくしま	本部	34
平成25年11月10日(日)	札幌市	札幌市教育文化会館	支部	45
平成25年12月1日(日)	福井市	福井県中小企業産業大学校	本部	73
平成26年1月19日(日)	東京・中野区	中野サンプラザ	支部	79
平成26年1月26日(日)	福岡市	九州ビル	本部	53
平成26年3月1日(土)	名古屋市	ウィンクあいち	本部	32
平成26年3月8日(土)	岡山市	岡山国際交流センター	本部	46
平成26年3月9日(日)	神戸市	兵庫県民会館	支部	18

(4) ペット写真展の開催

人とペットとのふれあいの楽しさ、動物愛護の心などが表されている写真を通じて、写す側、鑑賞する側双方の動物愛護精神の涵養を図ることを目的として、一般公募方式により「第33回全国ペット写真コンテスト」を開催した。総勢96名から295点の応募があった。その内訳は次のとおりである。

全国ペット写真コンテスト応募実績

動物種類	応募者数	割合 (%)
犬	179	60.7
猫	58	19.7
鳥	20	6.8
小動物	16	5.4
その他	22	7.5
計	295	100.0

平成25年8月9日(金)に開催した審査会において厳正に審査した結果、15点の入賞作品を選出、最優秀作品に授与するペット大賞(環境大臣賞)は、竹村悦子さん(高知県高知市)の作品「ここが好き」に決定した。上位入賞者表彰式は9月23日(月・祝)、中央行事屋内会場(東京国立博物館平成館)において行い、受賞者には、賞状及び副賞として入賞作品をプリントしたトートバッグ及び賞金を贈呈した。入賞作品はパネルにして、9月21日(土)中央行事屋外行事会場(上野恩賜公園内噴水池前広場)に展示した。

過去の全国ペット写真コンテスト入賞作品パネルは、次のとおり貸出しを行った。

ペット写真パネル貸与先

行 事 名	貸 与 先
動物愛護週間行事	北海道オホーツク総合振興局、北海道檜山振興局、北海道空知総合振興局、山形県、鹿児島県、郡山市保健所、千葉県支部、石川県支部、静岡県支部、岡山県支部

6) 調査研究活動への助成

家庭動物の適正な飼養管理について、科学的知見を踏まえた各種普及啓発活動を実施するための基盤整備、調査研究の活性化および研究者の育成を図ることを目的に、大学・研究所等に調査研究活動への助成を行った。

平成25年度は下記の3名を採用し、合計160万5千円の助成を行った。(平成25年度の助成期間は、平成25年4月～平成26年3月までの1年間)

1	甲田 菜穂子	東京農工大学農学部(准教授)		
	調査研究課題	自治体における動物愛護管理行政の現状と課題に関する全国調査		
	研究費総額	65万円	助成額	35万円
2	谷口 隆秀	東京農工大学獣医学部(教授)		
	調査研究課題	猫伝染性腹膜炎の予防・治療法開発に重要なツールとなるネコ骨髄細胞由来マクロファージ作製法の確立		
	研究費総額	170万円	助成額	85万円
3	田村 雅紀	工学院大学建築学部(准教授)		
	調査研究課題	室内飼育・犬猫の音環境に関するQOL改善に向けた建築技術とシステムに関する研究		
	研究費総額	70.5万円	助成額	40.5万円

平成26年度の募集期間は平成25年7月1日（月）～10月15日（火）で、主に協会ホームページを中心に広報を行い、合計12件の応募者があった。調査研究等助成委員会で審査を行なった結果、4名を候補者として選考した。平成26年度の助成期間は、平成26年4月～平成27年3月までの1年間を予定している。

7) 機関誌等図書印刷物の刊行

(1) 機関誌『愛玩動物 with PETs』の発行

9月号よりリニューアルを行い、誌名を『愛玩動物』から『愛玩動物 with PETs』と変更した。

1月号より、全国の図書館への寄贈を開始し、機関誌の裏表紙に管理士の通信教育の広報も合わせて行えるようにした。

各号の主な内容は次のとおりである。

機関誌の内容

231号（5月発行）	<ul style="list-style-type: none"> ・わんだー犬聞録「犬のフィラリア症」 ・エンジョイバードライフ「セキセイインコ」 ・第33回 全国ペット写真コンテスト作品募集
232号（7月発行）	<ul style="list-style-type: none"> ・定時社員総会開催報告 ・わんだー犬聞録「成犬を譲ってもらったら」
233号（9月発行） リニューアル号	<ul style="list-style-type: none"> ・人とペットとのコミュニケーション
234号（11月発行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットの行動としつけ大研究
235号（1月発行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ペット・ツーリズム ペットと一緒にでかけよう！
236号（3月発行）	<ul style="list-style-type: none"> ・大切な家族を守るために知っておきたい ペットのリスクアセスメント

(2) 本協会ウェブサイト等の広報媒体の活用

インターネットによる公益法人のディスクロージャー（情報公開）の充実により業務運営の透明化及び適正化を図るため、最新の業務及び財務等に関する情報を公開している。また、協会ホームページのサーバー内に「支部ページ」を設け、希望する支部にホームページの開設の場を提供し、現在28支部が支部ページを運営している。

また、愛玩動物飼養管理士通信教育を広く一般に広報するために、本協会ホームページに詳細を掲載するとともに、平成26年度の募集にあたり資料請求のためのメールフォームを協力企業（アニコム、ペット宿.com）サイトに設置した。犬・猫雑誌、全国紙（朝日、読売、産経、東京）に広告を掲載し、全国行政機関、生涯学習センター等、都道府県鳥獣商組合、ペット関連企業、犬猫雑誌購読動物病院、本協会35支部にポスター・三つ折りリーフレットを送付し、掲出等を依頼した。また、アニコム契約会員宛の送付物にリーフレットを同梱した。

(3) 飼養相談事例集及び飼育読本等の出版

愛玩動物飼養管理士実践ガイドブックとしてのペット飼養相談事例集は、愛玩動物飼養管理士が普及活動の中で、飼養相談の実践に役立つよう編集したもので、平成25年度は入会者を中心に1,632部頒布した。

パンフレット等の頒布状況（概数）

ウサギの飼い方	1,079
ねこの飼い方	2,845
小鳥の飼い方	1,051
ひとと動物の防災を考えよう	6,000
いっしょになかよくシール	11,400
協会シンボルマーク入りクリアフォルダ	11,100
協会パンフレット（3つ折り）	17,000
愛玩動物飼養管理士のリーフレット	190,000
折り紙（犬）	10,000
折り紙（猫）	10,500
動物○×クイズセット グリーン	3,400
動物○×クイズセット ブルー	3,400
動物○×クイズセット ピンク	3,400
計	271,175

8) ペット検定（仮称）

愛玩動物飼養管理士はペットに関する知識の普及啓発活動を実施する指導者という位置づけであるため、毎年1万人以上の受講があるものの、大幅な増加は見込めず、ペットに関する知識を全国民に浸透するには十分とはいえない。賢明な飼い主のすそ野を広げるために、一般的な飼い主を対象にしたペットについての初歩的な知識等に関する検定事業（仮称：ペット検定）の導入に向けた準備を開始した。

9) ペットツーリズム等を通じた適正飼養の普及の推進

身近で親しみやすい事例であるペットツーリズムなどを切り口として、環境省や東京都の協力のもとに本協会、東洋大学、西武ホールディングス、藤田観光、アドホック株式会社、休暇村協会、アニコム損害保険株式会社の主催により7月23日に東洋大学のスカイホールにおいてシンポジウムを開催した。参加者数は約100名であった。

また、東洋大学においてわが国初の授業である「ペットツーリズム論」を昨年度に引き続き本協会の寄付講座として開講（受講生は約90名）するとともに、東洋大学に対する奨学寄附金により本授業及び前述のシンポジウム並びにペットツーリズム等の動向や実態に関する資料をまとめた報告書を作成し、関係機関に配布した。

2 その他本協会の目的を達成するために行った事業

1) 関係団体との情報交換等の実施

幅広い情報の収集を図るために、関係団体との情報交換を行った。また、普及啓発活動の推進に当たって必要となる環境整備を図るため、災害時における動物救護及びマイクロチップ等による所有者明示措置等の関連事業を、関係団体との連携を図りながら実施した。

2) 「第25回日本動物児童文学賞」への審査協力

公益社団法人日本獣医師会が、次代を担う子どもたちのために、動物の愛護、動物の適正飼養、人と動物のふれあい、人と動物の共生等を扱った文学作品を世に送り出すことを目的に設置した児童文学賞で、本協会から椎野雅博副会長が審査員として協力した。

3) 東日本大震災の被災動物支援、震災復興関係の主な活動

(1) 緊急災害時動物救援本部の活動

次の4団体が本部を構成し、連携して活動を行った。

(公財) 日本動物愛護協会、(公社) 日本動物福祉協会

(公社) 日本愛玩動物協会、(公社) 日本獣医師会

平成25年6月に緊急災害時動物救援本部役員の改選があり、本部長に本協会の東海林会長が就任したことに伴い、事務局の当協会内への受け入れに協力した。

① 東日本大震災関係の活動

被災3県動物救護本部(事業終了に伴い解散した現地救護本部については、自治体及び地方獣医師会)との連絡会議及び救援本部会議に出席した。対応についての協議を行い今後の事業活動方針を決定した。また、平成26年3月7日環境省記者クラブにおいて今後の救援事業の進め方についての記者発表に同席した。

② 緊急災害時動物救援本部ホームページ移設等

ホームページの業務委託先サーバーからの移設作業への協力を行った。

また、被災動物検索サイトの新設準備作業への協力を行った。(平成26年4月末完成予定)

4) 規程等の整備

本協会規程の新設と変更を次のとおり行った。

区分	規程名	会議名	議決日
変更	本協会の組織体制の改善措置に関する特別規程、業務執行理事会規程、事務局規程、職員給与規程、会計処理規程、監事監査規程、愛玩動物飼養管理士認定細則	第1回定例理事会	平成25年 5月10日
変更	定款	第4回通常総会	平成25年 5月25日
変更	職員給与規程、就業規則	第2回定例理事会	平成25年10月25日
新設	役員及び職員の兼業に関する規程	第2回定例理事会	平成25年10月25日

5) 協会が関係する外部会議(県令順)

平成25年度に本協会の関係者が参加した外部会議は次のとおり。

(1) 業務執行理事及び職員等

全国動物愛護推進協議会 東日本大震災緊急災害時動物救援本部会議
 動物ID普及推進会議 動物個体識別研究会 動物愛護週間中央行事実行委員会
 ペット法学会 宮城県動物愛護推進協議会 東京都動物愛護管理審議会
 東京都動物愛護推進協議会 東日本大震災東京都動物救援本部会議
 動物の災害対策連絡会

(2) 支部役員等

[北海道支部]

北海道動物愛護推進協議会 札幌市動物愛護管理のあり方検討委員会

[秋田県支部]

秋田県動物愛護推進協議会 秋田県動物愛護推進計画協議会

[茨城県支部]

茨城県動物愛護推進協議会

[栃木県支部]

栃木県動物愛護推進協議会 栃木県動物愛護管理推進計画懇談会
宇都宮市動物愛護推進協議会 栃木県動物愛護フェスティバルあり方検討会
災害時避難動物等対策班

[群馬県支部]

群馬県動物愛護ふれあいフェスティバル検討会
動物愛護フェスティバル in まえばし検討会
高崎市動物愛護ふれあいフェスティバル検討会

[埼玉県支部]

埼玉県動物愛護推進協議会 さいたま市動物愛護推進協議会
上尾伊奈狂犬病予防協会

[千葉県支部]

千葉県動物愛護管理推進協議会 千葉県動物救護連絡会
動物愛護フェスティバル in ちば検討会
なかよし動物フェスティバル in ふなばし検討会
なかよし動物フェスティバル in かしわ検討会
公益財団法人千葉県動物保護管理協会

[東京都支部]

昭島市総合防災訓練関係機関会議 豊島区災害時における動物救護に関する意見交換会

[神奈川県支部]

神奈川県動物愛護管理推進協議会 人と動物の共生推進よこはま協議会
横浜市港南区動物連絡会 動物の災害対策連絡会

[富山県支部]

富山県動物愛護推進協議会

[福井県支部]

福井県動物愛護フェスティバル企画検討会議 福井県動物愛護管理推進計画行動委員会
福井県動物愛護管理推進計画 改定委員会

[山梨県支部]

山梨県動物愛護デー検討会 山梨県動物愛護管理推進計画検討委員会

[長野県支部]

動物愛護推進公開講演企画会議

[静岡県支部]

静岡県動物愛護管理推進委員会 一般社団法人静岡県動物保護協会理事会
静岡市被災動物救護計画検討会議 「動物愛護フェスティバル静岡 2014」実行委員会

[愛知県支部]

愛知県動物愛護推進協議会 名古屋市動物愛護推進協議会
「動物フェスティバル 2014 なごや」準備会

[三重県支部]

三重県動物愛護管理推進協議会

[滋賀県支部]

滋賀県動物保護管理センター事業推進協議会 滋賀県動物保護管理協会 評議員会

[京都府支部]

京都市動物愛護推進会議 京都市動物愛護センター（仮称）運営委員会
京都府動物愛護管理推進計画検討委員会 京都市動物愛護推進委員会

[大阪府支部]

大阪府動物愛護推進協議会 大阪市動物愛護推進会議
 [兵庫県支部]
 兵庫県動物愛護管理推進協議会
 [和歌山県支部]
 和歌山県動物愛護推進協議会
 [鳥取県支部]
 鳥取県動物愛護推進協議会
 [岡山県支部]
 岡山県動物愛護推進協議会 岡山県動物愛護フェスティバル実行委員会
 岡山市動物愛護フェスティバル実行委員会
 倉敷市動物愛護フェスティバル実行委員会
 [広島県支部]
 広島県動物愛護管理推進協議会
 [徳島県支部]
 とくしま地震防災県民会議
 [香川県支部]
 香川県動物愛護推進懇談会
 [愛媛県支部]
 愛媛県動物愛護推進懇談会
 [高知県支部]
 高知県動物愛護推進協議会
 [福岡県支部]
 福岡県災害時動物救護対策協議会 福岡県動物愛護推進協議会
 福岡市動物の愛護と管理推進協議会 福岡県動物愛護週間行事打ち合わせ会議
 動物愛護フェスティバル in ふくおか 古賀市地域イベント「まつり古賀」
 北九州市動物愛護推進協議会
 [長崎県支部]
 長崎県動物愛護推進協議会
 [鹿児島県支部]
 鹿児島県動物愛護推進協議会
 [沖縄県支部]
 沖縄県動物愛護管理推進計画懇話会 那覇市愛護サポーター 那覇市協働大使

※参考（協会理事等）

東日本大震災緊急災害時動物救援本部、福島県動物愛護推進懇談会
 いわき市動物行政のあり方検討懇談会、東京都動物愛護推進協議会
 東日本大震災東京都動物救援本部会議

6) 各種行事への後援等

主 催	開催時期	開催地	内 容
全日本チャボ保存協会	平成25年4月	東京都	第75回チャボ全国品評会 後援
特定非営利活動法人動物愛護 社会化推進協会	平成25年5月	東京都	第11回公開シンポジウム「動 物達が望む飼い主の責務につ いて考える」後援
公益社団法人日本動物病院福 祉協会、一般社団法人日本臨床 獣医学フォーラム	平成25年6月	大阪府	WJVF (WEST JAPAN VETERINARY FORUM) 第4回大会
一般社団法人ペットフード協 会 メサゴ・メッセフランクフ ルト (株)	平成25年8月	千葉県	インターペット2013 ～人と ペットの豊かな暮らしフェア 後援
動物愛護フェスティバル2013 インあづみ野実行委員会	平成25年9月	長野県	動物愛護フェスティバル2013 インあづみ野後援
三重県健康福祉部	平成25年9月	三重県	平成25年度動物愛護の絵・ ポスター募集 後援
狂犬病臨床研究会、アニコム予 防委員会	平成25年9月	東京都	世界狂犬病デー2013 in Tokyo 後援
公益財団法人日本動物愛護協 会	平成25年11月	東京都	第6回日本動物大賞後援
ペットとの共生推進協議会	平成25年11月	東京都	第2回ペットとの共生推進協 会シンポジウム協賛
一般社団法人ジャパンケネル クラブ	平成25年12月	東京都	ジャパンドッグフェスティバ ル2013 後援

Ⅲ 役員、会議、委員会等

(平成26年3月31日現在)

1 役員等

役員(22)	代表理事(1)	会 長	東海林克彦
	業務執行理事 (5)	副会長	椎野雅博
		常務理事	大島誠之助、岡崎留美、佐々木勲、武田和彦
	理 事(14)	飯島英恵、池田毅、上田健治、臼井玲子、川口和清、 斉藤久美子、対馬美香子、天川九二夫、長岡裕子、畠 山雅子、林谷秀樹、平井潤子、福田真由美、山田広美	
	監 事(2)	安部正弘、望月克夫	
	名誉会長(2)	大鷹淑子、小川益男	
	相談役(3)	経徳禮文、鈴木松衛、西村尚一	
	顧 問(8)	北村直人、猪俣治太郎、内田美由紀、實藤憲正、鈴木 登、橋本洋一、花澤公子、山崎いく子	

2 会 議

社員総会、理事会、業務執行理事会

	会 議 名	開 催 日	審 議 事 項
①社員総会	第4回定時社員総会	平成25年 5月24日(金)	平成24年度貸借対照表、正味 財産増減計算書、及び財産目録 承認の件、並びに平成22年 度・23年度正味財産増減計算 書の修正承認の件、定款等変更 の件、理事1名選任の件、名誉 会員承認の件
②理事会	第1回定例理事会	平成25年 5月10日(金)	平成24年度事業報告及び決算 の承認に関する件、個人正会員 入会、事務局長就任の件、役員 選任候補者の提案の件、協会の 組織体制の改善に伴う諸規則変 更の件、認定試験実施数増に伴 う諸規則変更の件、名誉会長、 顧問選任の件、認定委員選任の 件
	臨時理事会懇談会	平成25年 8月29日(木)	協会業務の改善に向けた各種取 組み事項について

	第2回定例理事会	平成25年10月25日(金)	平成25年度上期事業報告及び上期決算について、業務執行理事等の選定について、協会の組織体制の改善に伴う諸規則変更等について(協会組織及び職員給与規程等)、長崎県支部設置について、次年度の支部活動予算等について
	第3回定例理事会	平成26年 1月10日(金)	愛玩動物飼養管理士試験(12月)の合格者の決定について、調査研究助成の決定について、引当金(所沢分室整備)の新規創設について、消費税率の引き上げに伴う受講受験料等の改定について、寄附金の税額控除について、協会の事業計画(中・長期計画)の策定について、各種事業の進捗状況について、役員選考委員会の設置について
	第4回定例理事会	平成26年 3月12日(水)	愛玩動物飼養管理士試験(3月)の合格者決定について、平成26年度事業計画案について(中期事業計画案を含む)、平成26年度収支予算案について、消費税の引き上げに伴う受講受験料の改定について、1級の認定登録料等の取り扱いについて、会員の資格の取得について、業務執行報告について
③業務執行理事会	第1回業務執行理事会	平成25年 4月 6日(土)	協会の新組織体制について
	第2回業務執行理事会	平成25年 4月25日(木)	平成24年度事業報告案の件、平成24年度決算報告案の件、平成24年度監査報告の件、平成22年度、23年度修正決算等の件、諸規則改正の件、個人正会員入会、認定委員等選任の件、役員選考委員会(理事選任の件、事務局長選任の件)

第3回業務執行理事会	平成25年 5月10日(金)	協会の組織体制の改善に伴う諸規則変更の件、協会の年間業務スケジュールの件、職員の役職就任の件、緊急災害時動物救援本部の本部長就任の件、受講・受験者数の中間報告の件、認定試験実施回数の変更に伴う諸規則変更の件、各種契約や購読書籍等の削減状況について
第4回業務執行理事会	平成25年 5月24日(金)	協会の広報事業について
第5回業務執行理事会	平成25年 6月17日(月)	平成25年度給与改定の件、平成25年度賞与金の件、代休制度の件、平成25年度スクーリング講師料の件、支部へのアンケートの中間集計等の件、機関誌の件、今後の執行理事会日程の件
第6回業務執行理事会	平成25年 7月25日(木)	夏期募集の件、支部アンケート集計の件、ブロック会議の件、支部会報・支部ホームページ及びその他支部運営に係る件、防災協定の件、ペット・ツーリズムの件、機関誌9月号の件、平成25年度給与改定等の件、調査研究助成の件、中央行事予定の件(理事臨席案内、ペット写真コンテスト)、公開セミナーの件
第7回業務執行理事会	平成25年 8月29日(木)	協会業務の改善に向けた各種取り組み事項について、山梨県支部への回答について、ブロック会議について、支部会報・支部ホームページの事前確認について、防災協定について、ペット・ツーリズムについて、機関誌9月号について、職員の給与等について、人事について、BCP対策について、予算の執行状況について

第8回業務執行理事会	平成25年 9月18日 (水)	動物愛護週間行事について、夏期募集について、ペット検定について、コンビニ払いについて、会員カードについて、支部長会議について、機関誌について、予算の執行状況について、職員の給与等について、所沢分室について、第2回定例理事会及び懇談会について
第9回業務執行理事会	平成25年10月21日 (月)	業務執行報告について、中間決算について、協会の人員の配置について、労働条件の整備について、支部長会議について、機関誌11月号について、公開セミナーについて、ブロック会議について、理事会の議題及び資料について
第10回業務執行理事会	平成25年11月15日 (金)	職員人事及び棒給表について、支部長会議について、ポイント制度について、機関誌1月号について、消費税について、引当金について、夏期募集の募集期間について、会員証について、賞与の査定について、公開セミナーについて、ブロック会議について、退職慰労金について
第11回業務執行理事会	平成25年12月 9日 (月)	賞与の査定について、消費税について、御用納め、年始挨拶について、役員改選人事について、事業計画(長期計画)について、直下型地震対策の引当金について、12月認定試験について、次年度スクーリング会場の予定(秋田、長崎の追加)について、機関誌について、平成26年度春期募集のPRについて、次年度予算、事業計画について、1月1日付採用人事について
第12回業務執行理事会	平成26年 1月10日 (金)	定例理事会(平成25年度第3回)での審議事項について

	第13回業務執行理事会	平成26年 2月14日 (金)	3月認定試験について、認定登録及び会員加入状況について、平成25年度予算の執行状況について、積算方式による予算編成について、協会の事業計画(中・長期)について、支部総会について(開催状況及び出席者)、喫煙室の改修等
	第14回業務執行理事会	平成25年 3月18日 (月)	平成25年度事業計画・収支予算案、諸規則変更、組織体制、指定校名義使用

3 各種委員会

(1) 委員会の概要

委員会名	回数	審議事項
① 愛玩動物飼養管理士認定委員会	5	通信教育全般、教本審議、スクーリングカリキュラム、課題報告問題作成、認定試験問題作成、認定試験合否裁定等の審議
② 調査研究助成等委員会	1	大学等及び研究所への研究助成
③ 機関誌編集委員会	2	機関誌『愛玩動物』の企画・編集業務
機関誌編集小部会	2	機関誌『愛玩動物』の企画原案の検討
計	10	

(2) 委員長及び委員 (50音順)

委員会名	委員長	委員
① 愛玩動物飼養管理士認定委員会	菅野茂 (東京大学名誉教授)	宇山理奈 (アイドル総合病院副院長)、荒井延明 (スペクトラム・ラボ・ジャパン)、大木富雄 (日本ペットフード顧問)、大島誠之助 (倉敷芸術科学大学客員教授)、北垣憲仁 (都留文科大学特任准教授)、斉藤久美子 (斉藤動物病院院長)、四宮勝之 (公益社団法人日本獣医師会参与)、武部正美 (武部獣医科医院長)、対馬美香子 (あすか動物病院)、沼田一三 (元兵庫県動物愛護センター所長)、本藤良 (日本獣医生命科学大学名誉教授)、水越美奈 (日本獣医生命科学大学講師)、村松梅太郎 (日本獣医生命科学大学客員教授)
② 調査研究助成等委員会	委員名は公表せず	
③ 機関誌編集委員会	大島	飯島、伊藤、沖、斉藤 (幸)、対馬、畠山

4 支 部

平成26年3月現在で次の37支部を設置。支部会員の登録率は24%

7ブロック	支 部 名
北海道・東北（4）	北海道、宮城県、秋田県、福島県
関東（7）	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸・信越（4）	富山県、石川県、福井県、長野県
中部（4）	山梨県、静岡県、愛知県、三重県
近畿（6）	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国・四国（7）	鳥取県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄（5）	福岡県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
計	37支部
(注) 未設置県（10県）：青森県、岩手県、山形県、新潟県、岐阜県、島根県、山口県、佐賀県、熊本県、大分県	

5 会員の状況

(単位：名)

正会員	団体正会員	15
	個人正会員	102
一般会員	普通会員	16,075
賛助会員	個人賛助会員	0
	団体賛助会員	11
名誉会員		2
合 計		16,205

6 職員の状況

常勤役職員の状況

(単位：名)

区 分	年度初	増 加	減 少	年度末	次年度4月1日
役 員	2	1	1	2	2
職 員	7	3	0	10	10
計	9	4	1	12	12

以 上